



横浜市立相沢小学校

10月号

学校だより

R2.9.30

秋の訪れ

校長 海老澤 孝代



和泉川沿いに、今年も変わらずに真っ赤な彼岸花が咲き始めました。急に涼しくなり、秋の訪れを感じます。

今年度のふれあいスポーツフェスティバルは、規模を縮小し午前中のみの開催と計画しています。コロナ禍のため、例年のように地域の皆様や多くのご家族をご招待できないのは残念ですが、スローガン「ふれあおう相沢 つなごうみんなの思い～心は一つ マスクの下でもスマイル相沢～」の実現を目指し、一人一人が達成感を感じられるようにしたいと思います。スポ

フェス委員は「時間も短く競技は減ったけれど、たくさんの笑顔が見られるように、いかに楽しませることができるかを考え、頑張ります。」と張り切って準備を進めています。子どもたちがこの状況に落胆ばかりせず、どうしたいのかを考え取り組んでいることに頼もしさを感じます。当日は、笑顔で目標に向かって全力で躍動する子どもたちに、盛大なご声援をよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症が収束する気配はなく、関連する情報を見ない日はありません。先日の朝会で、このウイルスが怖いのは「病気」が「不安」を呼び、「不安」が「差別」を生み、「差別」が更なる「病気」の拡散につながる負のスパイラルがあるという話をしました。人は不安になるとつかの間の安心感を得るために他を排除しようとし、感染をまるで悪いことをしたかのように責め悪口を言うことはいじめです。この負のスパイラルを断ち切るには、笑顔でいつもと同じ毎日を過ごすこと。同調せずに正しい判断をすること。不安な気持ちでいっぱいの人には、温かい言葉をかけられるあいざわっ子になってほしいです。このような状況だからこそ、互いに支えあうことが必要です。今後も新型コロナウイルス感染症について正しく学んだり、病気になった友達の気持ちや自分にはどのようなことができるのかを考えたりする取組を行っていきます。

これからスポーツに、読書に、芸術になど、どんなことをするのにもよい季節となります。校外学習も計画されています。行事ごとに安全対策を講じ十分注意して実施してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

※参考資料

新型コロナウイルス3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～（日本赤十字社）



学びあい 認めあい 支えあい
夢をはぐくむ あいざわっ子